

つくばみらい市長

飯島 善 いじま ぜん



新年明けましておめでとうございませう。

市民の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素から市政全般にわたり深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新生「つくばみらい市」が誕生した記念すべき年でありました。

また、トリノオリンピックにおきまして、フィギュアスケートで荒川選手が金メダルを獲得、ワールド・ベースボール・クラシックで王ジャパンが初代王者に輝くなど、多くの国民に希望を与えてくれました。さらに天皇家におかれましては、秋篠宮家に悠仁親王がご誕生になるなど、明るく喜ばしいことございました。

一方、国内各地では豪雨災害などが発生し、甚大な被害があ

りました。改めて自然災害の恐ろしさや防災に対する備えについて考えさせられた年でもありました。

私は、昨年5月の市長選挙におきまして、多くの皆様から多大なるご支援を賜り、初代市長に就任し8ヶ月が経過いたしました。この間、新市建設計画の将来像であります、「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」を実現するため、財政基盤の強化を図りながら防災行政無線統合整備事業、(仮称)豊体丁字路道路整備事業、都市計画道路(東橋戸台線)整備事業、板橋コミュニティセンター整備事業、電子自治体構築事業などを推進するとともに、事務事業の一元化に向けてさまざまな施策、事業を展開しているところであります。

本年も厳しい財政状況が想定されるなかで、職員一丸となつて地域の発展と、行政サービスの一層の向上を図る決意であります。

結びに、市民の皆様方にとつて平成19年がすばらしい飛躍の年でありますとともに、益々のご健勝とご多幸を心から祈念いたします。新年のごあいさつといたします。

今年もよろしくお願ひします。

新年のごあいさつ

つくばみらい市議会議員

豊島 葵 とよしま まもる



市民の皆様明けましておめでとうございませう。

平成19年の新年にあたり、市議会を代表して謹んでごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、常日ごろ市議会に対する暖かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新生つくばみらい市として初めての新年を迎えたわけでございますが、昨年はお互い長い歴史の中で、それぞれの道を歩んできた伊奈町と谷和原村の合併があり、市議会といたしましては合併2年目ということ、心を新たにすべつてのこととに対し、更なる飛躍を目指し精神的に取り組んでいきたいと考えております。

ご承知のとおり、現在の社会情勢は国際化、情報化、少子高齢化などが急速に進行しております。また、地方分権による国、県からの権限委譲や補助金、地方交付税の削減など、本市にお

いても特に財政面をはじめとして、克服すべきさまざまな課題を抱えているなか、行政需要はその量・質ともますます複雑多様化するなど、誠に厳しいものがあります。こうしたなかで、皆さんの声を的確に市政に反映させることが、私どもの責務であると考えております。

私ども議決機関といたしましても、「活力に満ちた うるおいとやすらぎのまち」実現に向け、今後さらに創意工夫を重ね、市民皆様方のご期待に応えるよう、議員一同より一層の努力を傾注してまいりたいと思っております。

市民の皆様のご多幸を祈念いたしますとともに、本年も相変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。新年のごあいさつといたします。